設　計　基　本　情　報

諸　経　費　情　報

単価世代	2026年9月1日　04：東葛飾
諸経費の工種	道路改良工事
施工地域補正	共通仮設費：一般交通影響有り(2)-2　現場管理費：一般交通影響有り(2)-2
前払金支出割合	40%
契約補償費	0.04％　金銭的保証
処分費控除	あり
昼間・夜間工事	昼間
時間的制約状況	制約なし
週休２日補正	月単位(現場閉所)

松　戸　市

工　事　設　計　書

所 属 部 課 名		建設部 河川清流課							
部長	審議監	課長	補佐	補佐	補佐	主査	班	設計者	設計審査
工事名		公共用防火水槽撤去工事							
工事場所		松戸市千駄堀929番地							
事 業 年 度		令和　　8　　年度							
工事価格		円							
請負工事費計		円							

松　戸　市

設計説明	公共用防火水槽撤去･･･1式

松　戸　市

単価適用日　2026年9月1日

本　工　事　内　訳　書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事								
		構造物土工		式	1			第 1 号内訳書参照
		構造物取壊し工		式	1			第 2 号内訳書参照
	附帯工							
		道路構造物撤去復旧工		式	1			第 3 号内訳書参照
		伐木･伐竹除根工		式	1			第 4 号内訳書参照
		植栽工		式	1			第 5 号内訳書参照
	仮設工							
		施工ヤード整備工		式	1			第 6 号内訳書参照
		交通管理工		式	1			第 7 号内訳書参照
	直接工事費計			式	1			

本　工　事　内　訳　書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		運搬費		式	1			第 8 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計		式	1			
	純工事費			式	1			
		現場管理費		式	1			
	工事原価			式	1			
		一般管理費等		式	1			
	工事価格			式	1			
		消費税及び地方消費税相当額		式	1			
工事費計				式	1			

第 1 号 内訳書　　構造物土工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	小規模（0.28BH）	m3	29			第 1 号単価表参照
床掘り	現場制約あり（人力）	m3	5			第 2 号単価表参照
埋戻し工	小規模（0.28BH） 購入土（黒土）	m3	51			第 3 号単価表参照
埋戻し工	現場制約あり（人力） 発生土	m3	5			第 4 号単価表参照
残土運搬処分	小規模（0.28BH積込、4tDT運搬） 運搬距離17km以下　DID区間有	m3	29			第 5 号単価表参照
計						

第 2 号 内訳書　　構造物取壊し工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし・運搬・処分	（複合） 鉄筋構造物	m3	9			第 6 号単価表参照
計						

第 3 号 内訳書　　道路構造物撤去復旧工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アスカーブ撤去工	舗装版破砕 障害等有	m2	0.8			0.125*6 第 7 号単価表参照
殻運搬(As)	2tDT運搬 運搬距離11km以下	m3	0.1			0.0159*6 第 8 号単価表参照
処分費（t）		t	0.2			0.0159*6*2.35 第 9 号単価表参照
アスカーブ		m	6			第 10 号単価表参照
標識柱・基礎撤去（路側式）		基	1			第 11 号単価表参照
標識柱・基礎設置（路側式）		基	1			第 12 号単価表参照
部材撤去（レール撤去）		m	5			第 13 号単価表参照
部材設置（レール設置）		m	5			第 14 号単価表参照
計						

第 4 号 内訳書　　伐木･伐竹除根工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
伐木・伐竹（複合）	伐木、人力施工（密） 除根作業有	m2	7			第 15 号単価表参照
伐木・伐竹（複合）	伐竹、機械施工 除根作業有	m2	45			第 16 号単価表参照
伐木・伐竹（複合）	伐木、人力施工（密） 除根作業無	m2	8			第 17 号単価表参照
伐木・伐竹（複合）	伐竹、機械施工 除根作業無	m2	81			第 18 号単価表参照
運搬（伐木除根）	機械積込 運搬距離5.0km以下	m3	9			第 19 号単価表参照
伐木･伐竹処分費		m3	9			物価・資料･2026/09/01
計						

第 5 号内訳書　　植栽工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
植栽工（植樹）	イヌマキ H=2.0m W=0.5m	本	15			第 20 号単価表参照
植栽工（植樹）	ベニカナメモチ H=1.8m W=0.5m	本	6			第 21 号単価表参照
竹柵撤去、設置	真竹(発生品利用) 杉支柱丸太	m	19			第 22 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書　　施工ヤード整備工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板設置・撤去		m2	102			第 23 号単価表参照
敷鉄板賃料	22×1524×3048	枚	22			第 24 号単価表参照
土木シート設置		m2	118			第 25 号単価表参照
計						

第 7 号 内訳書　　交通管理工　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	27			第 26 号単価表参照
計						

第 8 号内訳書　　運搬費　　1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等） 往路	t	18			0.802*22 第 27 号単価表参照
仮設材等の運搬	（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等） 復路	t	18			0.802*22 第 28 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費	往復分	t	18			0.802*22 第 29 号単価表参照
計						

第 1 号　単価表　　床掘り　　小規模（0.28BH）　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）［後方超小旋回型］	排ガス型（第２次）　山積０．２８ｍ３	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB210030
J01　土質 = 1　　土砂　　J02　施工方法 = 5　　上記以外（小規模）
J05　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 2 号　単価表　　床掘り　　現場制約あり（人力）　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
	1 m3　当り					

SCB210030
J01　土質 = 1　　土砂　　J02　施工方法 = 6　　現場制約あり

第 3 号　単価表　　埋戻し工　　小規模（0.28BH）購入土（黒土）　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	小規模	m3	1			第 30 号単価表参照
客土材	黒土	m3	1.33			積算資料･2026/09/01
計	1m3　当り					

※施工パッケージ単価

第 4 号　単価表　　埋戻し工

現場制約あり（人力）
発生土　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量　６０～８０ｋｇ	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1m3　当り					

SCB210410
J01　施工方法 = 6　　現場制約あり　　J02　土質 = 1　　土砂
J03　締固めの有無 = 1　　有り

第 5 号　単価表　　残土運搬処分

小規模（0.28BH積込、4tDT運搬）
運搬距離17km以下　DID区間有　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		m3	1			第 31 号単価表参照
建設発生土処理費		m3	1.2			
計	1m3　当り					

第 6 号　単価表　　構造物とりこわし・運搬・処分　（複合）鉄筋構造物　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物	m3	1			第 32 号単価表参照
殻運搬	DID区間有 運搬距離10.9km以下	m3	1			第 33 号単価表参照
処分費（t）	鉄筋ＣＯ 東葛飾	t	2.5			第 34 号単価表参照
計	1 m3　当り					

SWB824020

J01	構造物区分 = 2	鉄筋構造物	J02	時間的制約の有無 = 1	無し
J03	夜間作業の有無 = 1	無し	J04	低騒音･低振動対策 = 1	必要
J05	DID区間の有無 = 2	有り	J06	運搬距離（km） = 5	10.9以下

第 7 号　単価表　　アスカーブ撤去工

舗装版破砕
障害等有

1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
空気圧縮機[可搬式･ｴﾝｼﾞﾝ駆動･ｽｸﾘｭ型]	吐出量３．５～３．７ｍ３／ｍｉｎ	%	K1			
さく岩機（コンクリートブレーカ）	２０ｋｇ級	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m2　当り					

SCB430310

J01	舗装版種別 = 1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	J02	障害等の有無 = 2	有り
J04	舗装版厚 = 7	10cmを超え15cm以下	J06	積込作業の有無 = 1	有り
J07	費用の内訳 = 1	全ての費用			

第 8 号　単価表　　殻運搬(As)

2tDT運搬
運搬距離11km以下　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB227010
J01　殻発生作業 = 3　　舗装版破砕
J03　DID区間の有無 = 2　　有り
J13　費用の内訳 = 1　　全ての費用
J02　積込工法区分 = 4　　機械積込（小規模土工）
J10　運搬距離（km）（DID区間有） = 11 11.0km以下

第 9 号　単価表　　処分費（t）　　100　t　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ＡＳ廃材処分費	東葛飾	t	100			
計	100 t　当り					
	1 t　当り					

SWB020052

第 10 号　単価表　　アスカーブ　　1　m　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	２ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
アスファルトカーバ[ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ駆動式]	４．０～４．５ｍ３／ｈ	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
運転手（一般）		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生細粒度アスコン（１３）	%	Z1			

第 10 号　単価表　　アスカーブ　　1　m　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
	1m　当り					

SCB410330
J01　断面積 = 3　　155cm2以上175cm2未満　　J02　材料 = 3　　再生細粒度アスコン（１３）
J03　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 11 号　単価表　　標識柱・基礎撤去（路側式）　　1　基　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
標識柱・基礎撤去（路側式）	単柱式φ６０．５～φ１０１．６ R7月単位現場閉所	基	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1基　当り					

SWB812190
J01　形式 = 1　単柱式（基礎含む）　J02　施工規模加算 = 3　2基以下
J03　時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無　J04　夜間作業の補正 = 1　無

第 12 号　単価表　　標識柱・基礎設置（路側式）　　1　基　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
標識柱・基礎設置（路側式）	単柱式　静電塗装　φ６０．５ R7月単位現場閉所	基	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1基　当り					

SWB812110

J01　柱の規格 = 1　単柱式（基礎含む）φ60.5
J02　施工規模加算 = 3　2基以下
J03　時間的制約を受ける場合の補正 = 1　無
J04　夜間作業の補正 = 1　無
J05　曲げ支柱加算 = 1　無
J06　柱の材料費の計上 = 2　無
J07　塗装仕様 = 4　静電粉体塗装（白色）

第 13 号　単価表　　部材撤去（レール撤去）　　1　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ部材撤去工 ﾚｰﾙ(耐雪型含)	路側用A・B・C 歩車道境界旧ApBpCp R7月単位現場閉所	m	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1ｍ　当り					

SWB810580
J01　規格・仕様 = 2　路側用A・B・C種（旧Ap・Bp・Cp種）　J02　夜間作業の補正 = 1　無
J03　時間的制約を受ける場合の補正 = 2 有

第 14 号　単価表　　部材設置（レール設置）　　1　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ部材設置工 ﾚｰﾙ(耐雪型含)	路側用　Ａ・Ｂ・Ｃ種 R7月単位現場閉所	m	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1ｍ　当り					

SWB810560
J01　材料費区分 = 2　手間のみ
J02　規格・仕様 = 1　路側用A・B・C種
J03　夜間作業の補正 = 1　無
J04　時間的制約を受ける場合の補正 = 2 有
J05　曲線部補正 = 1　無

第 15 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）　　伐木、人力施工（密）
除根作業有　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･超低騒音型]	排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.5m3	%	K1			
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）	%	K2			
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750mm	%	K3			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
普通作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 15 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）　　伐木、人力施工（密）
除根作業有　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z1			
	1 m2　当り					

SCB320590
J01　樹木･竹 樹木密集度及び施工区分 = 3 伐木（人力:密）（50本/100m2以上）　J02　除根作業の有無 = 1　有り
J03　集積積込み作業の区分 = 1　機械施工　J04　費用の内訳 = 1　全ての費用

第 16 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）　　伐竹、機械施工 除根作業有　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･超低騒音型]	排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.5m3	%	K1			
バックホウ（クローラ）［標準］	山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）	%	K2			
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750mm	%	K3			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
普通作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 16 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）　　伐竹、機械施工 除根作業有　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z1			
	1 m2　当り					

SCB320590
J01　樹木･竹 樹木密集度及び施工区分 = 5 伐竹
J02　除根作業の有無 = 1　有り
J03　集積積込み作業の区分 = 1　機械施工
J04　費用の内訳 = 1　全ての費用

※施工パッケージ単価

第 17 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）

伐木、人力施工（密）
除根作業無

1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･超低騒音型]	排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.5m3	%	K1			
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750mm	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
運転手（特殊）		%	R4			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			

第 17 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）　　伐木、人力施工（密）
除根作業無　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2　当り					

SCB320590
J01　樹木･竹 樹木密集度及び施工区分 = 3 伐木（人力:密）（50本/100m2以上）　J02　除根作業の有無 = 2　無し
J03　集積積込み作業の区分 = 1　機械施工　J04　費用の内訳 = 1　全ての費用

第 18 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）

伐竹、機械施工
除根作業無

1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･超低騒音型]	排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 山積0.5m3	%	K1			
掴み装置	開口幅1700~2000爪幅400~750mm	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
普通作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			

第 18 号　単価表　　伐木・伐竹（複合）　　伐竹、機械施工
除根作業無　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2　当り					

SCB320590
J01　樹木･竹 樹木密集度及び施工区分 = 5 伐竹
J02　除根作業の有無 = 2　無し
J03　集積積込み作業の区分 = 1　機械施工
J04　費用の内訳 = 1　全ての費用

第 19 号　単価表　　運搬（伐木除根）

機械積込
運搬距離5.0km以下　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック（深あおり・土砂禁止）	［オンロード・ディーゼル］　１０ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB320580
J01　積込条件 = 2　　機械施工
J03　DID区間の有無 = 2　　有り
J10　費用の内訳 = 1　　全ての費用
J02　除根作業の有無 = 1　　有り
J07　運搬距離（機械･除根有･DID有）　= 8 5.0km以下

第 20 号　単価表　　植栽工（植樹）　　イヌマキ H=2.0m W=0.5m　　100　本　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
イヌマキ	H=2.0m W=0.5m	本	100			物価・資料･2026/09/01
公園植栽工　植樹工　中木	樹高２００以上３００ｃｍ未満 R7月単位現場閉所	本	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 本　当り					
	1 本　当り					

SWB812510

J01　施工内容 = 4	中木 樹高200cm以上300cm未満	J02　施工規模 = 5	10本以上50本未満
J04　土壌改良材の有無 = 1	無	J05　植樹割増しの有無 = 1	無

第 21 号　単価表　　植栽工（植樹）　　ベニカナメモチ H=1.8m W=0.5m　　100　本　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ベニカナメモチ	H=1.8m W=0.5m	本	100			物価・資料･2026/09/01
公園植栽工　植樹工　中木	樹高１００以上２００ｃｍ未満 R7月単位現場閉所	本	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 本　当り					
	1 本　当り					

SWB812510
J01　施工内容 = 3　　中木 樹高100cm以上200cm未満　　J02　施工規模 = 6　　10本未満
J04　土壌改良材の有無 = 1　　無　　J05　植樹割増しの有無 = 1　　無

第 22 号　単価表　　竹柵撤去、設置　　真竹(発生品利用)
杉支柱丸太　　100　m　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
なまし鉄線＃10	径3.2mm	t	0.03			物価・資料･2026/09/01
杉支柱丸太	L2.0m 末口6cm	本	100			物価本･2026/09/01
計	100ｍ　当り					
	1ｍ　当り					

第 23 号　単価表　　敷鉄板設置・撤去　　100　m2　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
バックホウ（クローラ型）運転		日				第 35 号単価表参照
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			
計	100 m2　当り					
	1 m2　当り					

SWB253610
J01　作業区分 = 3　　設置・撤去

第 24 号　単価表　　敷鉄板賃料　　22×1524×3048　　1　枚　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板賃料		枚･日	19			
整備費（敷鉄板）	２２×１５２４×３０４８ｍｍ	枚	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1枚　当り					

SWB253630
J01　敷鉄板の種類 = 2　　22×1,524×3,048(mm)
J02　不足分弁償金の有無 = 1　　無
J04　供用日数（日）（実数入力）［日］= 19
J05　整備費の有無 = 2　　有

第 25 号　単価表　　土木シート設置　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
土木シート	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ系 0.37mm	%	Z1			物価本･2026/09/01
	1 m2　当り					

SCB224720

第 26 号　単価表　　交通誘導警備員Ｂ　　1　人日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1人日　当り					

SWB010212

第 27 号　単価表　　仮設材等の運搬　（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）　往路　1　t　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分Ａ	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1ｔ　当り					

SWB010020
J01　発注機関区分 = 1　関東・中部・近畿
J04　製品長区分 = 1　12m以内
J06　運搬割増率（実数入力） = 0
J02　片道運搬距離（実数入力）[km] = 10
J05　運搬割増率 = 4　各種（実数入力）
J07　その他の諸料金の有無 = 2　無

第 28 号　単価表　　仮設材等の運搬　（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）　復路　1　t　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分Ａ	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1ｔ　当り					

SWB010020
J01　発注機関区分 = 1　関東・中部・近畿
J02　片道運搬距離（実数入力）[km] = 10
J04　製品長区分 = 1　12m以内
J05　運搬割増率 = 4　各種（実数入力）
J06　運搬割増率（実数入力） = 0
J07　その他の諸料金の有無 = 2　無

第 29 号　単価表　　仮設材等の積込み取卸し費　　往復分　　1　t　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み．取卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1t　当り					

SWB010030
J01　作業区分 = 4　　積込み、取卸し（往復分）

第 30 号　単価表　　埋戻し　　小規模　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）［後方超小旋回型］	排ガス型（第２次）　山積０．２８ｍ３	%	K1			
ランマ	質量６０～８０ｋｇ	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 30 号　単価表　　埋戻し　　小規模　　1　m3　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3　当り					

SCB210410
J01　施工方法 = 5　　上記以外（小規模）　　J02　土質 = 1　　土砂
J04　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 31 号　単価表　　土砂等運搬　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	４ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3　当り					

SCB210110
J01　土砂等発生現場 = 2　小規模
J03　土質 = 1　土砂（岩塊･玉石混り土含む）
J14　運搬距離（km）（DID区間有） = 12 17.0km以下
J02　積込機種･規格 = 5　ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3（平積0.2m3）
J04　DID区間の有無 = 2　有り

第 32 号　単価表　　構造物とりこわし　　鉄筋構造物　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間　機械施工　制約無 R7月単位現場閉所	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3　当り					

SWB824010

J01　構造物区分 = 2	鉄筋構造物	J02　工法区分 = 1	機械施工
J03　時間的制約の有無 = 1	無し	J04　夜間作業の有無 = 1	無し
J05　低騒音･低振動対策 = 1	必要		

第 33 号　単価表　　殻運搬

DID区間有
運搬距離10.9km以下　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	１０ｔ積級 ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1m3　当り					

SCB227010
J01　殻発生作業 = 2　　ｺﾝｸﾘｰﾄ（鉄筋）構造物とりこわし　　J02　積込工法区分 = 1　　機械積込
J03　DID区間の有無 = 2　　有り　　J04　運搬距離（km）（DID区間有無） = 5 10.9km以下
J13　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 34 号　単価表　　処分費（t）　　鉄筋ＣＯ 東葛飾　　100　t　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋ＣＯ処分費	東葛飾	t	100			
計	100 t　当り					
	1 t　当り					

SWB020052

第 35 号　単価表　　バックホウ（クローラ型）運転　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	119			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)［標準・ｸﾚｰﾝ機能付き］	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SWK250590

契約条件明示及び特記仕様書

公共用防火水槽撤去工事

一般事項

１－１　適用

本仕様書は、松戸市が発注する「公共用防火水槽撤去工事」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書の定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

１－２　施工計画書

１．受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

（１）工事概要
（２）計画工程表
（３）現場組織表
（４）指定機械
（５）主要機械
（６）主要資材
（７）施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
（８）施工管理計画
（９）安全管理
（10）緊急時の体制及び対応
（11）交通管理
（12）環境対策
（13）現場作業環境の整備
（14）再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
（15）その他

２．受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

３．受注者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

４．本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、受注者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しなければならない。

１－３　使用材料

受注者は、工事着手前に設計図書及び監督職員に指定された材料について監督職員に提出しなければならない。

１－４　施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

１－５　工事着手前の確認

１．受注者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。

２．受注者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。

３．受注者は、工事の施工に当たり、損傷の受けるおそれのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。

４．既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。

５．本工事に伴う家屋事前調査については実施していないため、請負者においては万が一の影響を考慮し、工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。

１－６　その他

１．工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。

２．現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工のしていないときにも危険のないようにしておかなければならない。

３．受注者は工事（工事請負代金額が５００万円以上（消費税を含む））の施工におい

て、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工計画書に明記して提出することができる。

４．本工事施工に先立ち、下記のとおり移設工事等はないが、企業者と連絡をとり立会い等行うこと。

４－１　地上支障物・地下埋設物の有無

管理者	支障物件	支障位置	対処方法	対処時期
東京電力	－	－	－	－
ＮＴＴ	－	－	－	－
ＪＣＯＭ	－	－	－	－
京葉ガス㈱	－	－	－	－
千葉県水道局	－	－	－	－

４－２　企業者立会い等及び現地を確認して疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議すること。

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事

１．　本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。

２．　受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。

３．　工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

契約制度（週休２日制）について

１．　本工事は、週休２日制適用工事である。

２．　受注者は、現場閉所による週休２日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休２日（４週８休以上）達成相当の経費を補正している。

３．　受注者が、工事着手前に完全週休２日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休２日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。

４．　週休２日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休２日制適用工事実施要領」に基づき行うこと。

情報共有システムの活用について

本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。

実施にあたっては「松戸市土木工事情報共有システム試行要領」に基づくものとする。

環境対策について

1．　受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和６２年３月３０日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。

2．　受注者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。

3．　工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、受注者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

1．　本工事は原則昼間作業とする。施工中の交通整理員は、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間においても同様とする。

2．　交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通(通行人を含む)等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。

3．　施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。

4．　本工事で使用する建設機械や資材等は、原則昼間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。

5．　集中豪雨に対する対策を具体的に、施工計画に明記すること。

建設副産物について

１．共通事項

（1）　受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。

（2）　請負者は「千葉県建設リサイクル推進計画２０１６ガイドライン」に基づき、建設資材の利用又は建設副産物の発生・排出の有無にかかわらず、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「コブリス・プラス」（旧「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）」）により作成し、施工計画書に含め各１部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を工事完成後５年間保存しておくこと。

（3）　建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を２部提出すること。

（4）　建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。

（5）　建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に２部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。

（6）　建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストＡ票、Ｂ２票、Ｄ票、Ｅ票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、Ｄ票、Ｅ票の写しを提出すること。また、排出事業者はＡ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ票を５年間保存する。

（7）　発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

２．建設発生土

建設発生土は、柏市岩井 296-1 地先、片道運搬距離 13.4 ㎞の㈱エスブロックに搬出するものとする。

３．路盤廃材

~~本工事により発生する路盤廃材は、　　地先、片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、~~

~~処理するものとする。~~

４．建設廃棄物

本工事により発生する

１）アスファルト・コンクリート塊は、柏市風早 1-5-1、片道運搬距離 10.2 ㎞の東京石油興業㈱中間処理センターに運搬し、処理するものとする。

２）コンクリート塊は、柏市風早 1-5-1、片道運搬距離 10.2 ㎞の東京石油興業㈱中間処理センターに運搬し、処理するものとする。

３）建設発生木材は、松戸市上本郷 118-1、片道運搬距離 4.8 ㎞のフルハシ EPO㈱東東京工場に運搬し、処理するものとする。

４）~~建設汚泥は、　　市　　地先、片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。~~

５）~~建設混合廃棄物は、　　市　　町地先、片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。~~

６）~~汚泥及び廃アルカリの混合物は、　　市　　地先、片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。~~

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

(1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。

(2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。

(3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。

(4)混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

工事実績情報作成、登録（旧工事カルテ作成、登録）について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に完成時は、工事完成後１０日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金５００万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

その他

１．　本工事は、品質証明の対象外工事とする。

２．　施工ヤードの周囲には、単管バリケード等により立入防止措置を実施すること。特に、車道側の植栽を撤去した箇所は植栽の復旧が完了するまでフェンス等を設置すること。

３．　施工箇所及びその周囲は民有地であるため喫煙や不要な箇所への立入はしないこと。

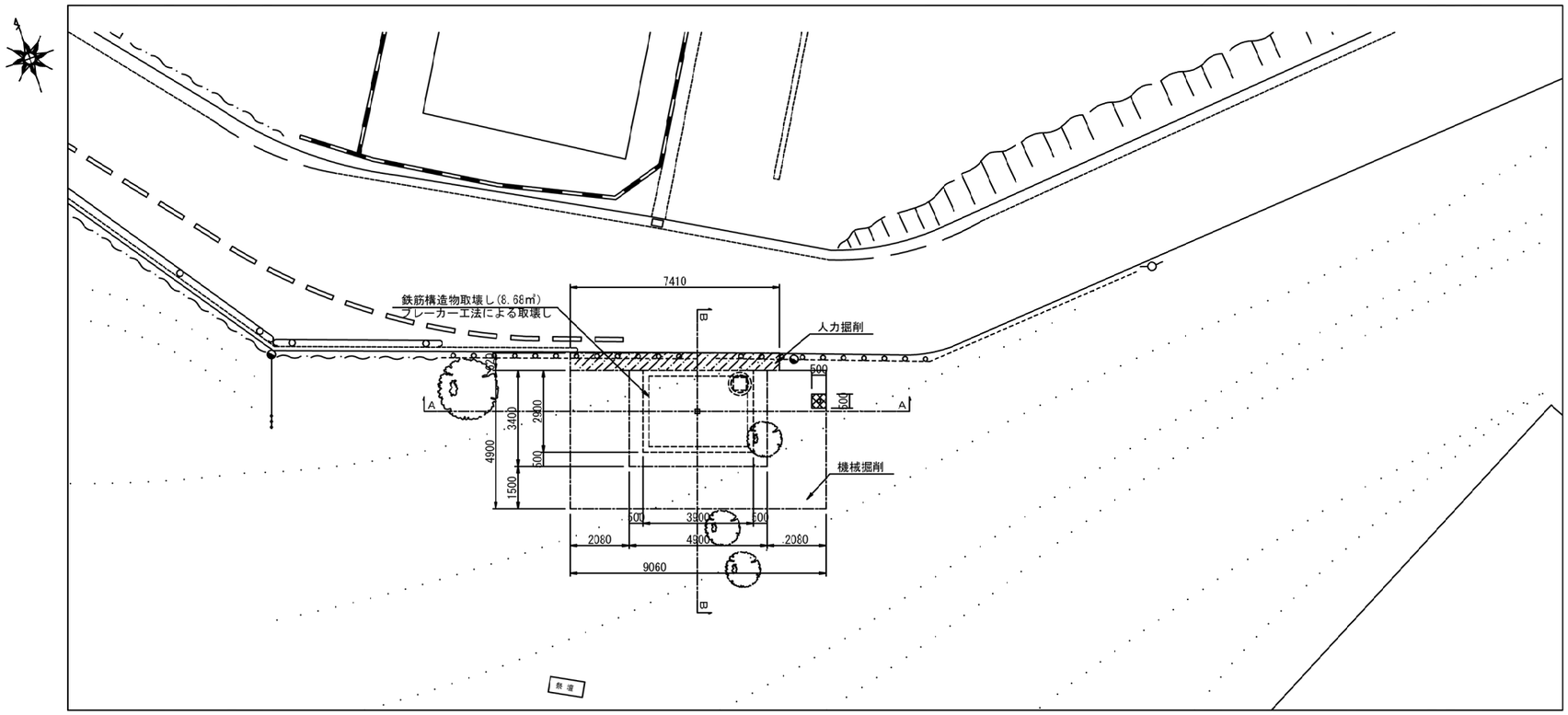
４．　人力施工による掘削残土（5m3）は場内に仮置きし、埋戻し土に再利用すること。

５．　工事の施工については令和９年１月４日以降とし、令和９年２月２６日までに完了させること（ただし、現地調査、測量等の作業はこの限りではない）。

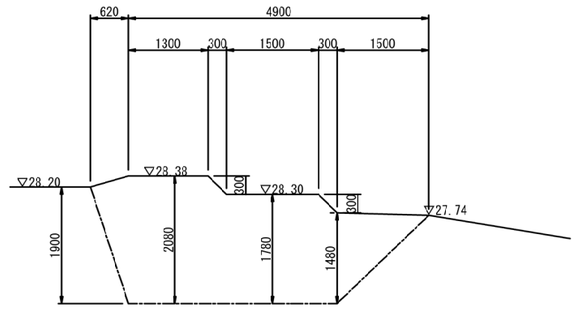
位　置　図

令和 8 年度	
工 事 名	公共用防火水槽撤去工事
工事箇所	松戸市 千駄堀 929番地
図面種別	位　置　図
縮　　尺	Free
図面番号	全 3 葉ノ内第 1 号
松 戸 市 消 防 局 警 防 課	

平面図　A3 S＝1：200　A1 S＝1：100



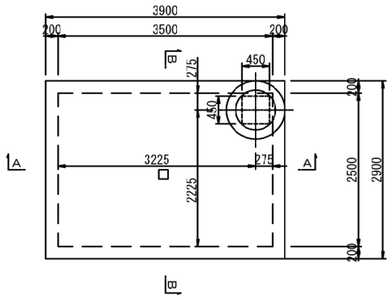
埋戻工　S＝1：200
（参考）



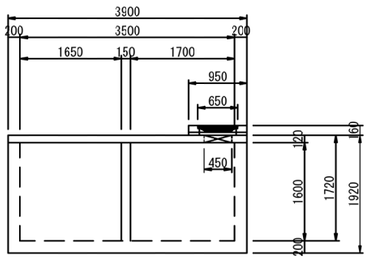
凡例
- ：人力掘削
- ：機械掘削
- ：掘削控除

防火水槽撤去図　S＝1：100

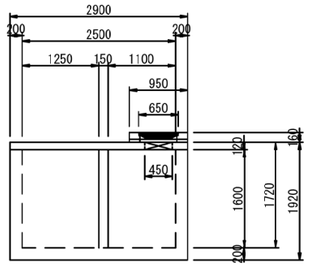
平面図



A－A

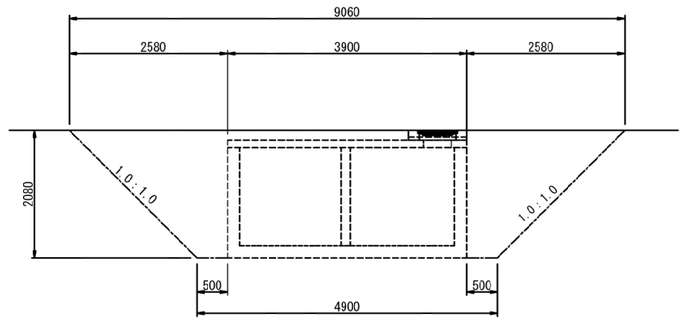


B－B

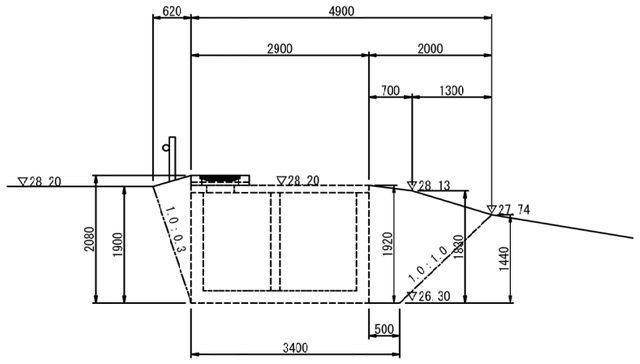


断面図　S＝1：200

A－A



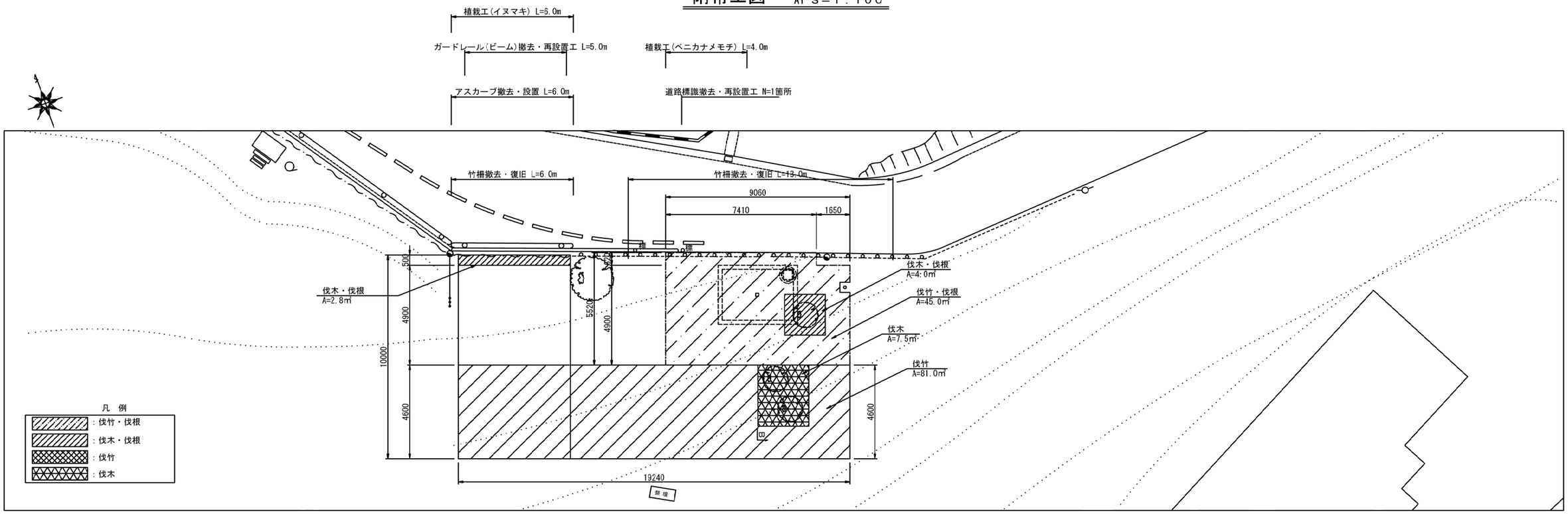
B－B



令和 8 年度	
工事名	公共用防火水槽撤去工事
工事箇所	松戸市 千駄堀 929番地
図面種別	平面図・断面図・防火水槽撤去図
縮尺	図示
図面番号	全 3 葉ノ内第 2 号
松戸市消防局警防課	

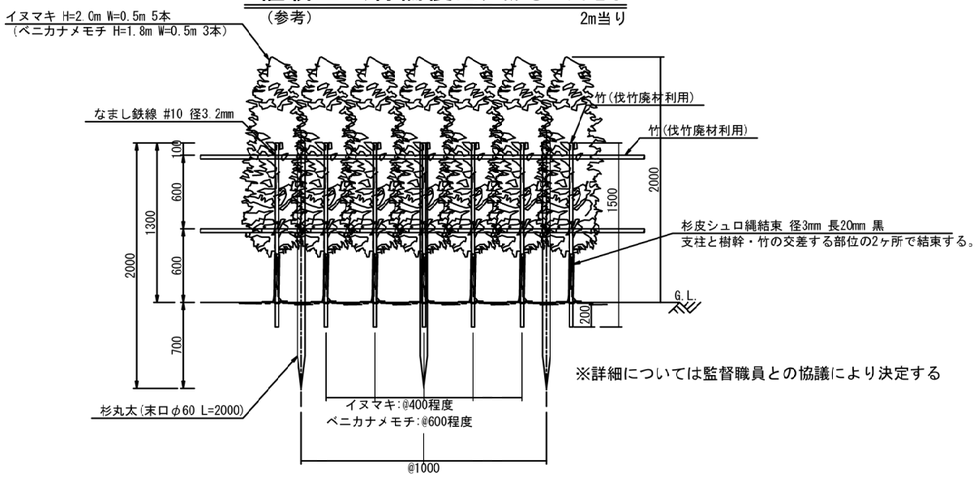
附帯工図

A3 S＝1：200
A1 S＝1：100



植栽工（竹柵復旧）

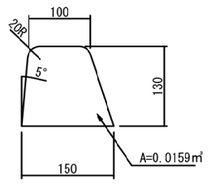
A3 S＝1：50
A1 S＝1：25



※詳細については監督職員との協議により決定する

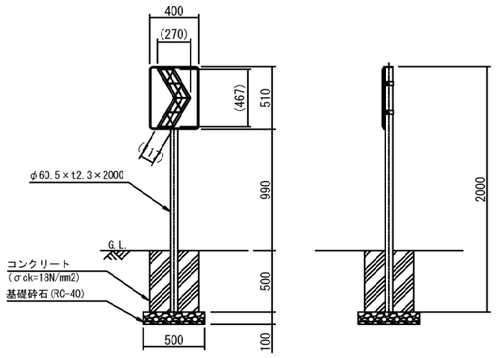
アスカーブ成形断面図

A3 S＝1：20
A1 S＝1：10



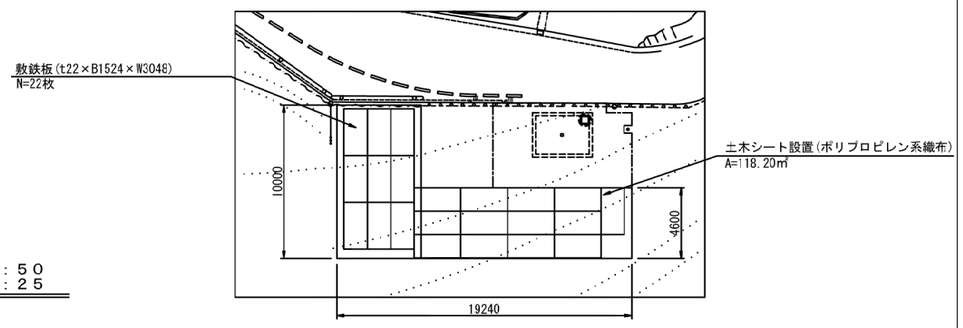
道路標識撤去・再設置工

A3 S＝1：50
A1 S＝1：25



施工ヤード整備工（参考図）

A3 S＝1：60
A1 S＝1：30



令和 8 年度	
工 事 名	公共用防火水槽撤去工事
工事箇所	松戸市 千駄堀 929番地
図面種別	附帯工図
縮 尺	図 示
図面番号	全 3 葉ノ内第 3 号
松 戸 市 消 防 局 警 防 課	

工　　程　　表

工事名称	公共用防火水槽撤去工事	工期	自　契約締結日の翌日から	松戸市
工事場所	松戸市千駄堀929番地		至　令和9年3月17日	消防局　警防課

項＼月日	令和8年				令和9年								
	11月		12月		1月		2月		3月		4月		
準備期間													
本工事期間													
後片付け													
書類整理													